
ポリプレス
PP1535
取扱い説明書



- この取扱い説明書は、ご使用になる前に必ずお読みください。
- この取扱い説明書は、エンドレス工具を安全にご使用頂くために、ご利用になる方に必ずお渡してください。

ニッタ株式会社

目次

1. 製品の確認	2
2. 仕様	3
3. 使用環境	4
4. 保管環境	4
5. 各部の名称	5
6. 安全上のご注意	6
7. 操作方法	11
8. エンドレス方法	14
9. 異常時の処置	16
10. 点検	17
11. 保証およびアフターサービス	18

1. 製品の確認

この度は、『PP1535』をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。



注意

- 製品がご注文通りのものか、確認してください。違った製品を使用した場合、火災、感電、ケガの原因になります。

1-1) 製品の確認

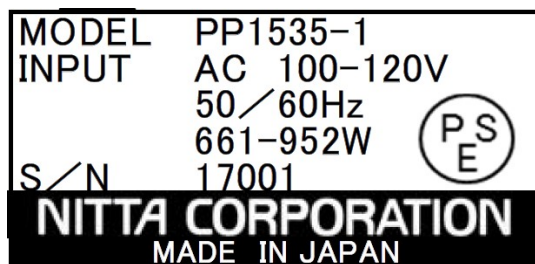
製品がお手元に届きましたら、次の点をご確認ください。

万が一不備な点がございましたら、お手数ですが、弊社または販売店、代理店にご連絡願います。

- ① 銘板記載の項目が、ご注文通りですか？
- ② 運送中の事故などで破損していませんか？
- ③ ネジやナットは緩んでいませんか？
- ④ 付属品の確認

製品の検査、出荷には万全を期しておりますが、万が一不備がございましたら、お手数ですがご購入された販売店、代理店、または弊社までご連絡下さい。

1-2) 銘板の見方



MODEL : プレス型式
INPUT : 入力電源仕様、消費電力
S/N : 製造番号

1-3) プレス型式

型式末尾の1、および2が入力電源の仕様を表します。

1がAC100～120V仕様、2がAC200～240V仕様です。

1-4) 付属品

取扱い説明書（本書）、加圧ゴム×1、離型シート×1

1-5) お問い合わせ時の注意

お問い合わせの際には、プレス型式、および製造番号をご連絡ください。

2. 仕様

2-1) プレスの概要

- ① 本機は、カムレバーより加圧するプレス機能と、温度コントローラにより温度制御ヒータを備えた、弊社ポリベルト用プレスです。
- ② 本機は、以下のベルトエンドレス仕様に適応します。
最大ベルト幅 : *300mm 以下 ※ 直角継手の場合
最大ベルト厚み : 6mm 以下

2-2) プレス主要緒元

型式	PP1535-1	PP1535-2
入力電源	100V~120V	200V~240V
	50/60Hz	50/60Hz
	660-952W	660-952W
設定温度	※ 90~110℃	
外形寸法	プレス本体 : 230mm 幅 × 600mm 長さ × (215) mm 高さ	
重量	28kg	

※ 温度コントローラの設定温度は、ベルトタイプに応じて 90~110℃の範囲でおこないます。ベルトタイプごとの設定温度はエンドレス作業標準を参照ください。

3. 使用環境

周囲温度	5°C～30°C（結露無きこと）
周囲湿度	15～85%RH
使用場所	屋内（粉塵の無い、水の掛からない場所）
雰囲気	引火性ガス、発火性ガス、腐食ガス、蒸気などないこと



- 下記の環境下では使用しないでください。
火災、感電の原因になります。
 - ・ 引火性、発火性ガスの雰囲気
 - ・ 腐食ガスの雰囲気
 - ・ 雰囲気温度が 5°C を下回る環境
 - ・ 雰囲気温度が 30°C を超える環境
 - ・ 高湿度雰囲気（湿度が 85% を超える環境）
 - ・ 蒸気、水滴が掛かる場所

4. 保管環境

周囲温度	0°C～40°C（結露無きこと）
周囲湿度	15～85%RH
使用場所	屋内（粉塵の無い、水の掛からない場所）
雰囲気	引火性ガス、発火性ガス、腐食ガス、蒸気などないこと



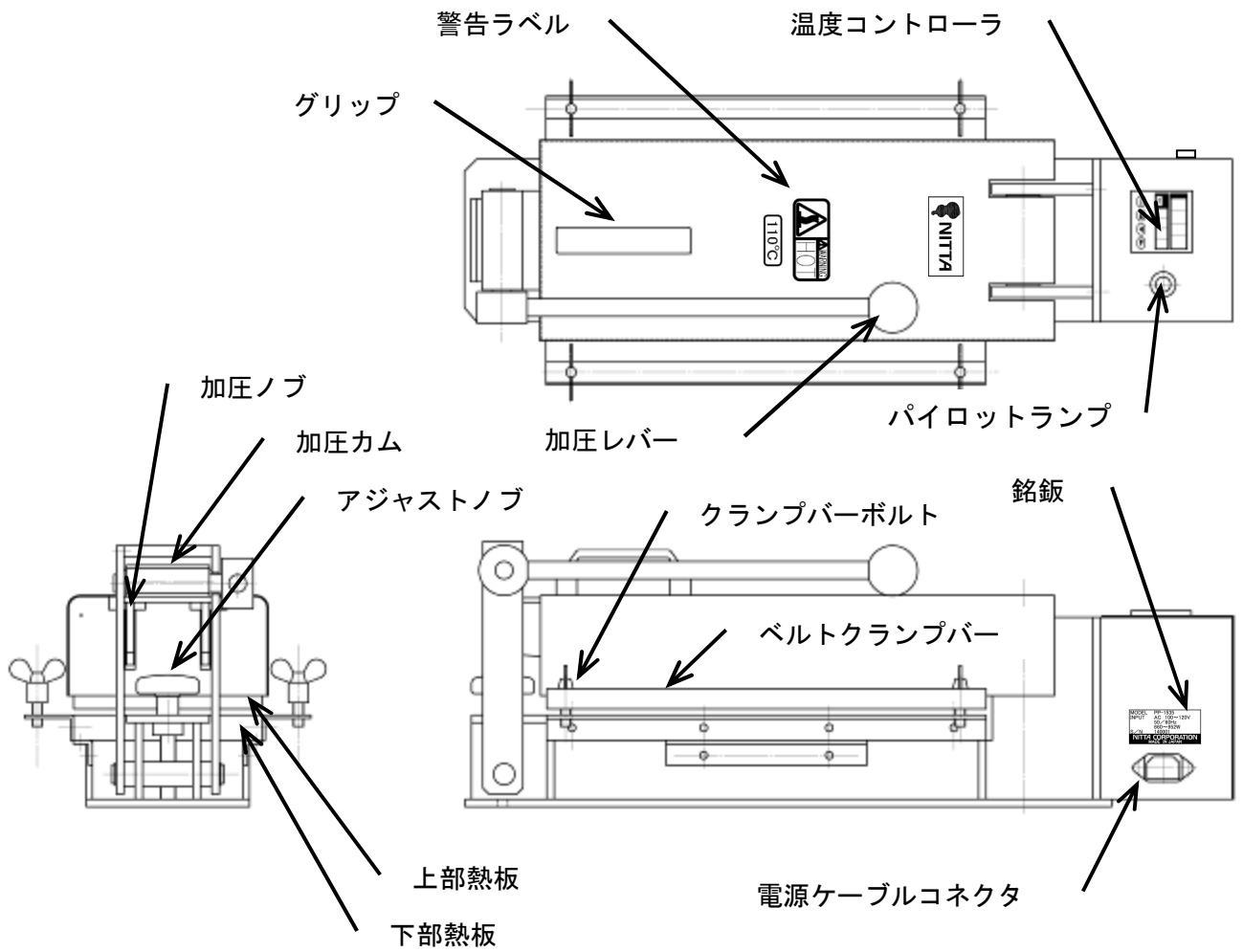
- 未使用時の保管は、上記の環境下にて行ってください。
保管状態が悪いと機械の故障を招き、感電、火災の原因にもなります。



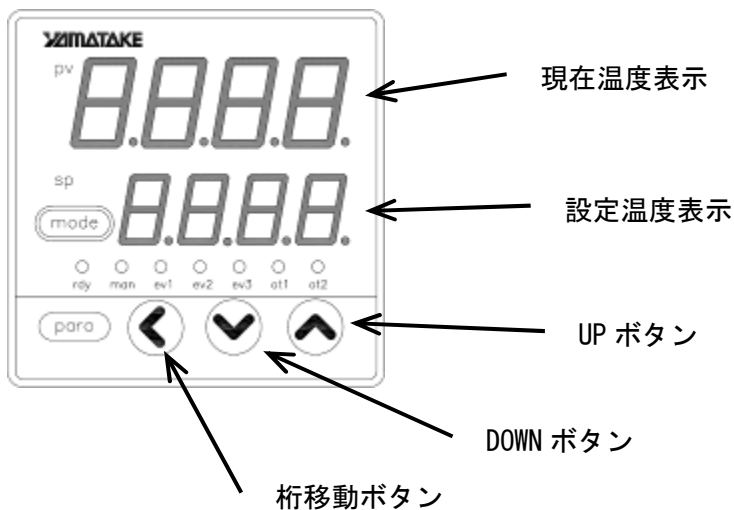
- 使用前は必ず、使用前点検を行い、正常に機能することを確認してください。
使用前点検において、異常が認められた場合は直ちに、弊社または販売店、代理店にご連絡願います。

5. 各部の名称

5-1) プレス本体



5-2) 温度コントローラ



6. 安全上のご注意

本機を安全にご使用頂く為に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。



取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または負傷を負う危険な状態が生じる可能性があることを示します。



取扱いを誤った場合に、使用者が軽症を負うか、または物的損害が発生する可能性があることを示します。

警告



- ベルトエンドレス以外の用途には使用しないでください。用途以外のご使用は思わぬ事故を招く危険性があります。誤った方法で使用すると、製品の安全保護機能を損なう恐れがあります。



- 本プレスは、肉体的、精神的または知的障害者の方単独でのご使用を想定しておりません。心身障害者の方がご使用になる場合は、作業全体に責任を有する方の監督下で行ってください。火災、感電、ケガの原因になります。



- ベルトエンドレス以外の用途には使用しないでください。本プレスをお子様に使用させないで下さい。また、保管時はお子様の手の届かない所に保管して下さい。火災、感電、ケガの原因になります。



- 操作、保守、点検の作業は、専門知識と技能を持つ人が実施してください。火災、感電、ケガの原因になります。



- 分解、改造は絶対に行なわないでください。火災、感電の原因になります。修理、点検が必要な場合は、弊社、または販売店、代理店へ依頼を行ってください。



- 異常（発煙、発火、異臭など）発生時には、すみやかに電源プラグを抜き、弊社または販売店、代理店へ点検依頼を行ってください。火災、感電の原因になります。



- プレス取扱いの際には、耐熱手袋を着用してください。火傷を負う危険性があります。



警告

- 使用する電源は、プレスの仕様範囲内であることを確認してください。火災、感電の原因になります。

型式	電源
100V 仕様	φ1 100V~110V 50/60Hz
200V 仕様	φ1 200V~220V 50/60Hz



警告

- 下記の環境下では使用しないでください。

火災、感電の原因になります。

- ・ 引火性、発火性ガスの雰囲気
- ・ 腐食ガスの雰囲気
- ・ 雰囲気温度が 5℃を下回る環境
- ・ 雰囲気温度が 30℃を超える環境
- ・ 高湿度雰囲気（湿度が 85%を超える環境）
- ・ 蒸気、水滴が掛かる場所



警告

- 使用後はすみやかに電源プラグを抜き、作業者は、本体が安全な温度へ冷えるまで、他の人が不用意に触れないよう、配慮願います。他の人が火傷を負う可能性があります。



警告

- プレスを可燃物の上で使用しないでください。火災の原因になります。



警告

- コンセントは正しく接続してください。本機の電源ケーブルには、アース接続用のプラグが使用されています。アースされているコンセントに正しい方法で接続してください。感電の原因になります。



警告

- 濡れた手での操作は絶対に行なわないでください。感電の原因になります。



警告

- 水などをかけたり濡らしたりしないでください。水がかかったまま使用されると、火災、感電の原因になります。



警告

- 延長ケーブルは 3 芯プラグのアース用を使用してください。延長ケーブルを使用する必要がある場合は、アース接続が可能な延長ケーブルを使用してください。感電の原因になります。



警告

- 電源ケーブルおよび、制御ケーブルには、印加電圧がそのまま通電します。ケーブルが損傷しないよう下記の点に注意してください。
火災、感電の原因になります。
 - ・電源プラグは手で持って抜いてください。
 - ・電源プラグの改造または交換をしないでください。
 - ・電源ケーブルの上に物をおかないでください。
 - ・電源ケーブルを折り曲げないでください。
 - ・電源ケーブルは強く引っ張らないでください。



警告

- コンセントと電源ケーブルのプラグ形状が一致しない時は、変換プラグをご使用下さい。
感電の原因になります。
附属電源ケーブルのプラグ形状は下記の通りです。変換プラグは附属しておりませんので必要な場合は、お客様でご用意下さい。

型式	プラグ形状名	プラグ図
• • 100V 仕様 •	A Type	
• 200V 仕様	GEE7 (S Type)	



警告

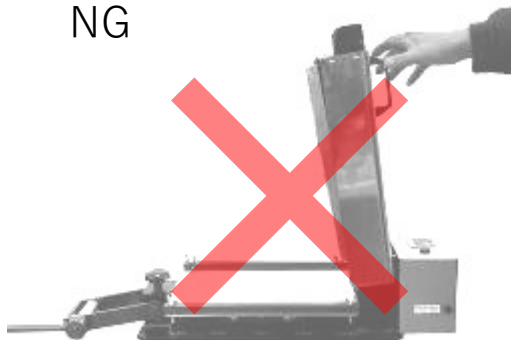
- 本プレスは水平且つ、強固なテーブルまたは架台にボルトで固定したうえで使用して下さい。
ケガおよび、骨折の原因になります。



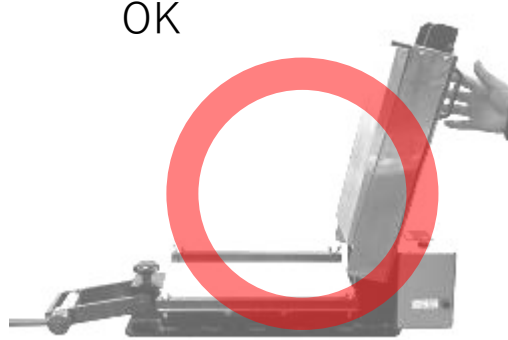
警告

- 上部熱板を開く場合は、グリップをしっかりと握り、ゆっくり引き揚げます。
また、上部熱板が最大開口位置まで開いたことを確認してから手を放してください。
上部熱板が倒れ、火傷やケガおよび、骨折の原因になります。

NG



OK



警告

- 上部熱板を開いた状態で、プレスに振動を与えないで下さい。
上部熱板が倒れ、火傷やケガおよび、骨折の原因になります。



警告

- 上部熱板を閉じる際も、グリップをしっかりとぎり、ゆっくりと閉じて下さい。
火傷やケガおよび、骨折の原因になります。



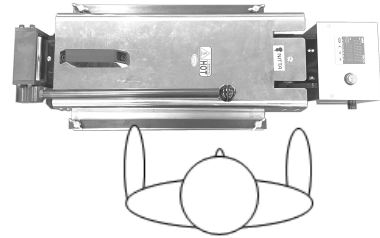
警告

- 上部熱板を開いたままで放置しないで下さい。
予期せずに上部熱板が倒れる場合があります。
火傷やケガおよび、骨折の原因になります。



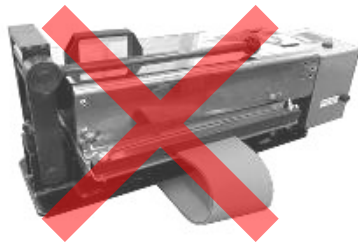
警告

- エンドレス作業はプレス機の右側面から作業を行うことでプレス機が操作が行いやすく安全に作業を行うことが可能です。
作業員から見てコントローラが右に加圧レバーが左に位置する向きでエンドレス作業を行ってください。



警告

- エンドレス時にベルトをプレス機下部に取り廻さないで下さい。
プレス機の設置が不安定になります。
ケガおよび、骨折の原因になります。



NG



OK





- 本プレス機をテーブルに直接設置する場合、エンドレス可能なサイズは下表の通りです。下図のような架台をご用意して頂くことでさらに短いサイズのエンドレスが可能になります。プレス機と架台はボルトでしっかり固定してからご利用ください。

ベルト幅 [mm]	ベルト長さ [mm]
～100	2000～
100～200	2500～
200～300	3000～

架台



注意

-  **注意** • 屋外では使用しないでください。
本製品は屋外での使用はできません。
-  **注意** • 使用前には、本書 15 ページに記載する点検を行ってください。
火災、感電の原因になります。
-  **注意** • 本プレスを落としたり、強い衝撃を与えたりしないで下さい。
火災、感電の原因になります。
-  **注意** • 弊社製ベルト以外のエンドレスには使用しないで下さい。
弊社製以外のベルトを本プレスでエンドレスされた場合、エンドレスが不完全になる可能性があります。
ベルトの機能、性能を十分に果たさなくなる可能性があります。

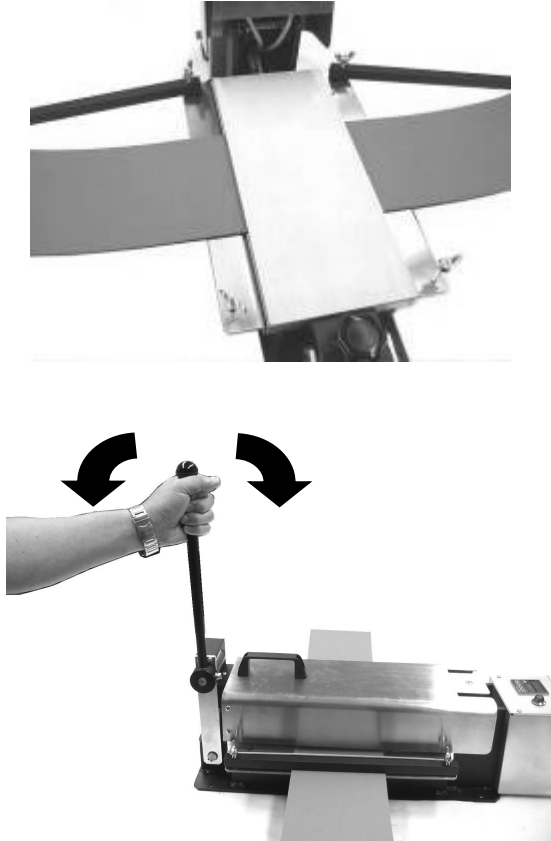

7. 操作方法

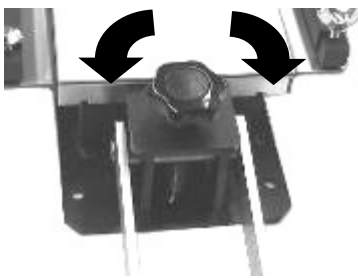
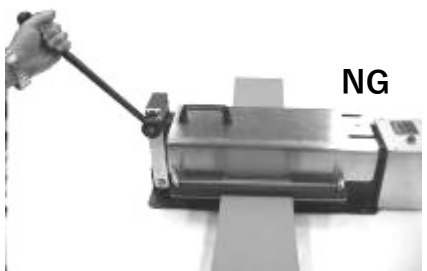
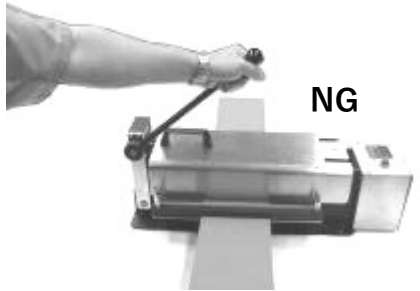
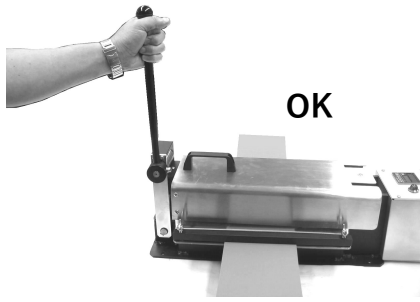
7-1) 使用工具 (準備して頂く物)

	<ul style="list-style-type: none">a. ポリプレス (PP1535)b. 加圧ゴム (付属品)c. 離型シート (付属品)d. 耐熱手袋 (火傷防止用保護具)e. ストップウォッチ (プレス時間計測用) <p> 警告 プレス本体は高温になります、耐熱手袋は必ず準備し、着用してください。火傷を負う危険性があります。</p>
---	--

7-2) 加圧力の調整

プレスの電源を入れる前に、エンドレスするベルトに応じた加圧力の調整を行ないます。

	<ul style="list-style-type: none">• 上下熱板の間に、エンドレスするベルトと、離型シートおよび、加圧ゴムを挟み入れます。 <p> 警告 振動により上部熱板が不意に倒れる場合があります、手を挟まないように注意してください。</p> <p>手を挟むと火傷やケガおよび、骨折の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 加圧レバーを操作し、加圧レバーに抵抗が掛かる角度を確認します。
--	--



- 加圧レバーが頂点に向いたところから圧力が加わり出すのが適切な状態です。

- 加圧レバーが頂点を過ぎてても圧力が加わらない状態では圧力が弱く、加圧レバーが頂点に達するまでに圧力が加わる場合は、圧力が強すぎます。

- 加圧力の調整はアジャストノブを回すことで行えます。

- 圧力が弱い場合は、アジャストノブを反時計回りに、圧力が強い場合は、アジャストノブを時計回りに回します。


重要

※ベルトタイプやベルト幅によっては、適正な圧力でもエンドレスを行うと、ベルト端部がつぶれる場合があります。そのような場合は、同じタイプのベルトを、圧力を分散させる為にエンドレスするベルトの両端にあてがってください。


7-3) 電源投入




- プレスに離型シートおよび加圧ゴムを挟み込み、上部熱板を閉じた状態にしてください。
- 電源プラグをコンセントに差し込むと、プレスへ電源が供給されると同時に加熱が始まります。約 20 分でエンドレスが可能な 110°C の温度に達します。

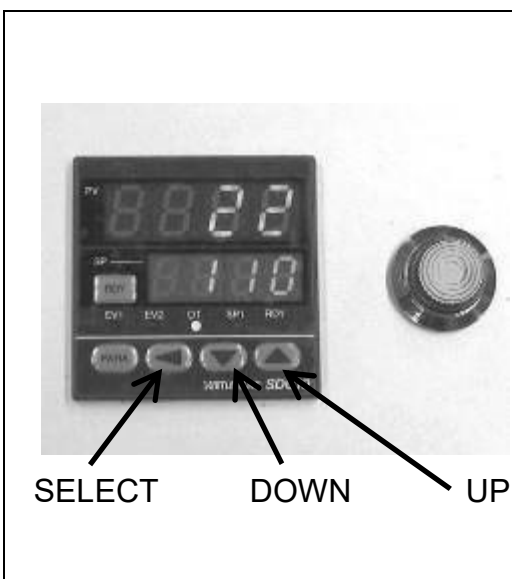
 **警告** アースの接続を必ず行ってください。

- プレスの ON/OFF は電源プラグの抜き差し、又はブレーカーで行なって下さい。

 **警告** 運転中の取扱いは、必ず耐熱手袋を着用してください。
火傷を負う危険性があります。

 **警告** 作業者は、プレス機を運転中のまま放置しないでください。他の人が不用意にプレス機に触れない様、配慮願います。他の人が火傷を負う危険性があります。

7-4) 温度設定（温度コントローラ）



- 温度コントローラ下側の UP ボタン、DOWN ボタンを押すと設定温度の変更ができます。
設定温度の変更中は設定温度がハイライトします。
桁移動ボタンで変更したい桁へ移動できます。

8. エンドレス方法

8-1) 作業手順



- 予め、7. 操作方法に示す、加圧力およびプレス温度の設定を行い、設定温度まで熱板温度を昇温させます。

※プレスの現在温度は温度コントローラで確認できます。



運転中の取扱いは、必ず耐熱手袋を着用してください。

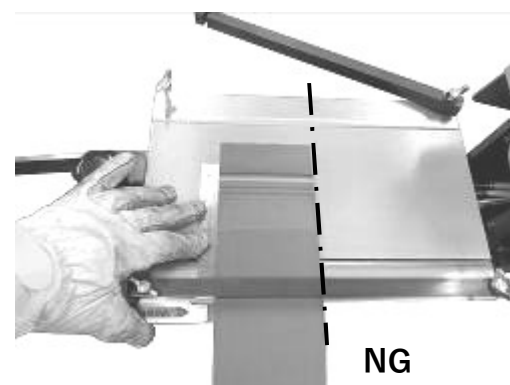
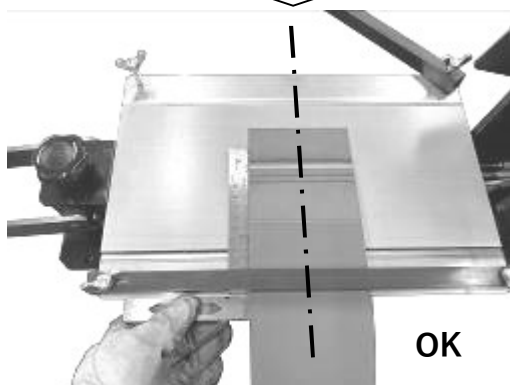
- ベルトの継手部にボンドを塗布します。
※ボンドの種類、および塗り方は、エンドレス加工標準を確認ください。

- プレス温度が設定温度まで昇温しているのを確認し、ベルトのエンドレス部をプレスの熱板の上で重ね合わせます。

※ベルトの重ね合わせは、芯体（ナイロンコア）を基準に合わせてください。

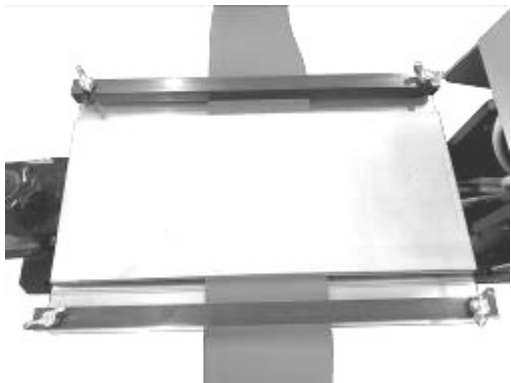
詳しくは、エンドレス加工標準を確認ください

プレス中心



重要

※ベルトの投入位置はベルトの中心とプレスの中心を合わせてください。ベルトの投入位置が、プレスの中心からずれると、圧力が均一にかからず、エンドレス不良を招きます。



- エンドレス部に曲がりがないか、定規等で確認し、ベルトクランプバーでベルトを固定します。

※曲がったままベルトを固定すると、正常な走行が出来ないベルトになります。

- ベルトの上に、離型シート、加圧ゴムの順に乗せます。

- プレスアームにより加圧し、所定時間ベルトを加熱します。

※加圧ゴムの熱膨張により、プレスアームに抵抗の掛かる位置が、事前に調整した位置から変わっている場合がありますが、再調整は行わないで下さい。

※加熱時間は、エンドレス加工標準を確認ください。

- プレスアームを操作し、圧力を開放し、ベルトをプレス機から取り出してください。



ベルトおよびプレスは高温です。火傷に注意願います。



プレス使用後は、上部熱板を閉じてください。



プレス仕様後はすみやかに電源プラグを抜き、安全な温度へ冷えるまでは、他の人が不用意に触れない様、ご配慮ください。

9. 異常時の処置

現象	原因		対処
温度表示窓に何も表示されない。	電源プラグが抜けている。		電源プラグを接続する
	コンセントに電源は来ていますか？	YES	温度コントローラの故障又、電源ケーブルの断線および、ヒューズ切れが考えられます。 ※弊社までお問合せください。
NO		コンセントに電源を供給してください。	
温度を設定できない。	温度コントローラの故障です。		修理が必要です。 ※弊社までお問合せください。
設定温度まで加熱しない。	仕様に応じた電源が入力されていますか？	YES	温度コントローラの故障又は、ヒータの断線が考えられます。 ※弊社までお問合せください。
		NO	適切な電源を入力してください。
加熱しない、または、温度が低下し続ける。	ヒータの断線および、温度コントローラの故障です。		修理が必要です。 ※弊社までお問合せください。
温度コントローラにアラームコードが表示される	A L 0 1	センサの断線または配線不良	温度コントローラの故障又は、温度センサの断線が考えられます。 ※弊社までお問合せください。
	A L 0 2	センサの断線または配線不良	
	A L 0 3	センサの断線または配線不良および温度コントローラの故障。	
	A L 7 0	温度コントローラの故障	
	A L 9 3	データ破壊発生	
	A L 9 8	データ破壊発生	

10. 点検

点検項目	日付/名前	日付/名前	日付/名前	日付/名前	日付/名前
電源ケーブルへの傷無きこと。					
温度コントローラの破損無きこと。					
電源プラグの破損無きこと。					
プレス本体部の破損無きこと。					
プレス本体部のネジ、脱落無きこと。					
熱板部に樹脂等の異物付着無きこと。					
熱板のロック装置が確実に作動すること。					

※本ページをコピーし、使用前点検にお役立てください。

11. 保証およびアフターサービス

1. 保証期間

保証期間は、貴社ご指定の場所に納入後1年間とします。

2. 保証範囲

- 1) 上記保証期間内に当社の責任による故障が発生した場合は、無償での代替品との交換または修理をさせていただきます。但し、保証期間内であっても、次に該当する故障の場合は保証対象外とさせていただきます。なお、代替品との交換または修理を行なった場合でも保証期間の起算日は対象製品の当初ご納入日とさせていただきます。
 - ① 取扱説明書、エンドレス手順書、などに記載された以外の不適切な条件・環境・取り扱い・使用方法に起因した故障。
 - ② お客様の装置など、対象製品以外に起因した故障。
 - ③ 当社以外による改造、修理に起因した故障。
 - ④ 当社出荷時の科学・技術水準では、予見が不可能だった事由による故障。
 - ⑤ その他、火災、地震、水害などの災害及び電圧異常など当社の責任ではない外部要因による故障。
- 2) 保証範囲は上記 1) を限度とし、対象製品の故障に起因するお客様での二次損害（装置の損傷、機会損失、逸失利益等）及びいかなる損害も保証の対象外とさせていただきます。
- 3) 保証期間終了後は、診断を行い修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。

ニッタ株式会社 工業資材事業部



本社	〒556-0022	大阪市浪速区桜川 4-4-26	TEL. 06-6563-1221	FAX. 06-6563-1222
東京支店	〒107-0052	東京都中央区銀座 8-2-1	TEL. 03-6744-2705	FAX. 03-6744-2706
名古屋支店	〒450-0003	名古屋市中村区名駅南 1-17-23	TEL. 052-589-1311	FAX. 052-566-2008
福岡営業所	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前 2-11-26	TEL. 092-473-6651	FAX. 092-474-2658
北陸営業所	〒920-0024	石川県金沢市西念 1-1-3	TEL. 076-265-6235	FAX. 076-223-6411
静岡営業所	〒420-0837	静岡市葵区日出町 2-1	TEL. 054-254-2133	FAX. 054-254-2136
奈良工場	〒639-1085	奈良県大和郡山市池沢町 172	TEL. 0743-56-4684	FAX. 0743-56-8681

ホームページ : <http://www.nitta.co.jp/>
本書の仕様、内容は予告無く変更することがあります。